

BMC プログラム：海外派遣報告書

理学研究科 高分子科学専攻
超分子科学研究室 博士後期課程 2年 田浦大輔

参加学会：III International Symposium on Macrocyclic and Supramolecular Chemistry (III ISMSC)

会場：Las Vegas, Nevada (USA)

派遣期間：July 13-18, 2008

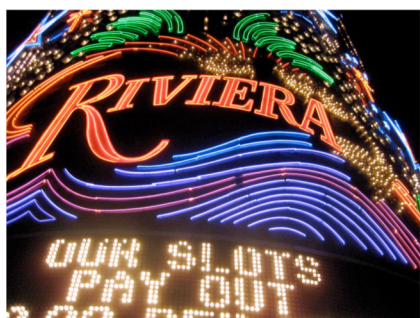
私は、インテグレート大学院理学教育 (BMC) プログラムの支援を受けて、Riviera Hotel (Las Vegas, USA) で開催された III International Symposium on Macrocyclic and Supramolecular Chemistry (III ISMSC) に参加させて頂きました。会場となったホテルは、歴史のあるカジノを有する有名なホテルで、映画の撮影に使用されたこともあります。

学会では、9:00 から 18:00 まで、途切れることなく、著名な先生方の講演があり、さらに、ポスター発表の日は、19:30 から 21:30 まで、お酒を片手に熱いディスカッションが各ポスターパネルで繰り広げられていました。ポスター発表では、ネイティブスピーカーの話す英語のあまりの速さに戸惑いましたが、発表を通して、今後の研究に対するモチベーションを高めることができました。

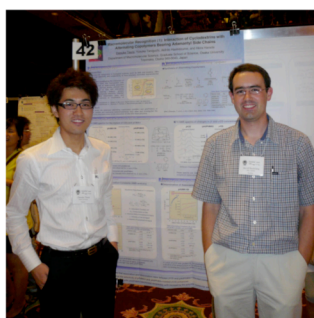
ラスベガスの夜は、聞き慣れない英語での講演やポスター発表で煮詰まった頭を冷やすのには十分過ぎる環境でした。ネオン輝く夜のラスベガスに漂う情熱と熱気は疲れた心と身体を癒してくれます。また、学会閉幕後、グランドキャニオンを訪れ、悠久の自然を前に言葉を失い、その壮大さに強い感銘を受けました。

今回参加した学会では、多くの研究者が生命の高度な機能の発現に目を向け、そのシステムを超分子化学 (Jean-Marie Lehn 提唱) を利用して構築、凌駕することを目指しています。私はラスベガスの滞在を通して、人工的に建設された都市である“ラスベガス”と長い年月を経て作り上げられた“グランドキャニオン”を肌で感じることで、“超分子システム”を“ラスベガス”、また、“生体システム”を“グランドキャニオン”ととらえると、化学の力で生命の機能を超えるシステムを構築するにはまだまだ年月を要するのではと感じました。

最後に、このような機会を与えて下さいましたインテグレート大学院理学教育プログラム、及び、当研究室の原田明教授に心より感謝致します。また、本海外派遣の手續きにあたり、多大な御協力を頂いた BMC 事務補佐の井上里奈様、及び、当研究室秘書の藤枝彰子様には心より御礼申し上げます。



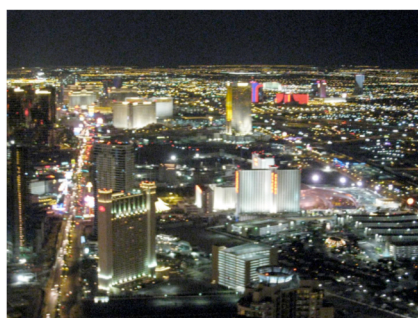
Riviera Hotel



Poster Presentation



Poster Presentation



Night View in Las Vegas



Grand Canyon